

衛 研 発 第 0104001 号
平 成 31 年 1 月 4 日

各関係機関の長 殿

国立医薬品食品衛生研究所長
(公 印 省 略)

生薬部主任研究官の公募について

謹啓

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、当所生薬部主任研究官を公募することになりました。つきましては、御多忙中のところ誠に恐縮とは存じますが、貴機関関係者に御周知くださるようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 職名

生薬部主任研究官（厚生労働技官・研究職）

2. 業務内容

当所生薬部においては、生薬、生薬製剤、漢方製剤の品質確保と安全性、有効性に関する試験・研究、生薬資源に関する研究、天然有機化合物の化学構造と安全性、生物活性に関する研究、並びに麻薬、向精神薬及び指定薬物等の乱用薬物、無承認無許可医薬品等に関する試験・研究等の業務を行っている。また、上記の業務関連物質について、日本薬局方をはじめとする公定医薬品規格の策定に参画するとともに、食薬区分に関する調査・研究、並びに天然薬物の規格に関する国際調和に資する研究等を行っている。

今回募集する主任研究官は、天然物、特に食品と医薬品の境界領域の原材料に含有される有機化合物の化学構造と安全性に関する調査、分析及び構造解析を中心とした研究業務に従事する予定である。

3. 応募資格

- (1) 薬学系、化学系、生命科学系等の関連研究領域において博士の学位号取得後、概ね5年以上の研究歴を有すること。
- (2) 業務内容に示した分野の研究を実施する上で必要な天然物化学に関する幅広い知識を有すること。
- (3) 天然物の安全性に関する調査と品質保証に関する研究に強い意欲を有し、この分野での研究経験並びに業績を有することが望ましい。
- (4) 天然有機化合物の定性及び定量分析に関する研究あるいは業務経験並びに業績を有すること。
- (5) 天然有機化合物の構造解析について、十分な経験を有することが望ましい。
- (6) 厚生労働省所管の国立研究機関における試験・研究の意義と役割に対する責務と意欲を有すること。
- (7) 所内外の研究者と積極的に共同研究を行う意欲を有すること。
- (8) 外国人との専門分野での打ち合わせ、議論を行うに足る英語力を有すること。

4. 提出書類

- (1) 履歴書（市販の横書き履歴書用紙又はそれに準じる様式のものに、高等学校以降を記入し、写真（6か月以内撮影）を添付すること。）
 - (2) 現在までの主要研究概要（A4用紙2枚程度）
 - (3) 研究業績目録（原著論文、総説、解説、単行本、国際学会発表）及び主要論文別刷（5報以内）
 - (4) 将来への抱負（陳述書）（A4用紙2枚程度）
 - (5) 学位記（写し）あるいは学位を証明するもの
 - (6) 現在までの競争的研究費の獲得状況
 - (7) 推薦状（複数可）
 - (8) 着任時期について希望がある場合は、その旨を記載した書類
- ※各書類が複数枚になる場合にはクリップ止めにする（ステープラーは使用しない）。
※（2）～（4）、（6）～（8）は様式自由。
※応募書類は返却しません。

5. 応募締切日

平成31年2月4日（月）13時（必着・締切日厳守）

6. 選考採用試験

- (1) 書類審査 平成31年2月中旬（予定）
 - (2) 面接試験 平成31年2月下旬（予定）
- ※面接には、15分程度のプレゼンテーションを含む。
※面接の実施場所は、国立医薬品食品衛生研究所。

7. 採用予定年月日

平成31年4月1日（事情により応相談）

※着任時期について希望がある場合は、4. 提出書類（8）の書類を提出すること。

8. 処遇等

- (1) 給与は、「一般職の職員の給与に関する法律」（昭和25年法律第95号）等に基づき、学歴・経歴等を勘案して決定します。
- (2) 1週間当たりの勤務時間は38時間45分（週休2日制）です。
- (3) 年20日の年次休暇（採用の年は、採用の時期により20日より少ない日数となります。）のほか、特別休暇（夏期・結婚・忌引・ボランティア等）、病気休暇の制度が整備されています。
- (4) この公募は、平成31年度予算案に盛り込まれているものである。

9. 書類提出先

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26

国立医薬品食品衛生研究所長

※応募書類の封筒には「生薬部主任研究官応募書類在中」と朱書きの上、書留にて郵送又は総務部総務課人事係に持参すること。

10. 本件問い合わせ先

国立医薬品食品衛生研究所 総務部総務課人事係 大胡田純一

電話：044-270-6600 内線1103

E-mail：ogoda@nihs.go.jp